

# こころのケア科

## 1. 概要

2014年1月から12月までの患者数は281人。副科初診患者数は268名であった。

外来は11人で、依頼元は耳鼻科と外科が3人ずつ、神経内科2人などであった。依頼理由は、精神面の緩和ケア外来、患者家族からの診察の希望、精神病患者の眼科の入院での手術の可否、心身症的な身体症状での精神科治療の可能性、精神的な葛藤の相談などであった。

救急外来は統合失調症の2人で、頻回の受診と入院適応での治療の説得である。

緩和ケアチーム症例数は13名であった。依頼理由の内訳は、疼痛緩和が13人中11人、腹部膨満と嘔気と嘔吐が2人であった。

副科の268名の内訳は、1番目と2番目が、神経症圏の症例とせん妄がそれぞれ40人（14.9%）ずつ。3番目は自殺企図の症例で32人（12.0%）。4番目、5番目は脳器質的精神障害あるいは生体腎移植患者の精神科的評価が20人（7.4%）ずつであった。この5種類の状態が、268人中152人で全体の56.7%になる。あとは精神病圏15人、認知症圏14人、不眠症11人、気分障害圏10人、アルコール症10人と続く。

（竹谷 一雄）

### ●疾患別頻度

総件数：254件

